

**NEOJAPAN**

# DXへの取り組み2026

2026年2月25日



I	社長メッセージ（DXへの取り組みにあたって）	3
II	DXへの取り組み方針	4
III	ネオジャパンのDX戦略	5
IV	DX戦略 推進体制	6
V	DX戦略 人材育成・確保	7
VI	ITシステムの環境整備・活用方法	8
VII	サイバーセキュリティ対策	9
VIII	KPI	10

当社は設立当初より、「**ビジネスICTツールを社会インフラに、すべての企業にITメリットを**」というビジョンを掲げ、最先端のインターネット技術とソフトウェア開発に挑戦してきました。

現在、生成AIやデータ連携の進展、競争環境の急速な変化は、私たちの事業に大きな機会とリスクをもたらしています。こうした外部環境の変化を踏まえ、当社は生成AIやデータ基盤の活用によって生産性および安全性を飛躍的に高めるとともに、データガバナンスとAI倫理（安全性・公平性・透明性）の両立を図る運用体制を一層強化してまいります。

また、最新のデジタル技術とAIを活用することでお客様のDXを力強く支援し、その成果をSX・GXの基盤強化へと結び付けてまいります。これらDXへの取り組みについては中期経営計画にも織り込み、その進捗状況をステークホルダーの皆様へ継続的にお伝えしてまいります。

2026年2月25日

代表取締役社長

齋藤 晶議

当社は「お客様のDX推進」、「社内のDX推進」の両輪を軸に事業を展開しています。業務データの一元化を進め、ノーコードツールや生成AIを活用し、業務プロセスの効率化、顧客体験の向上、新たな価値創造を目指します。

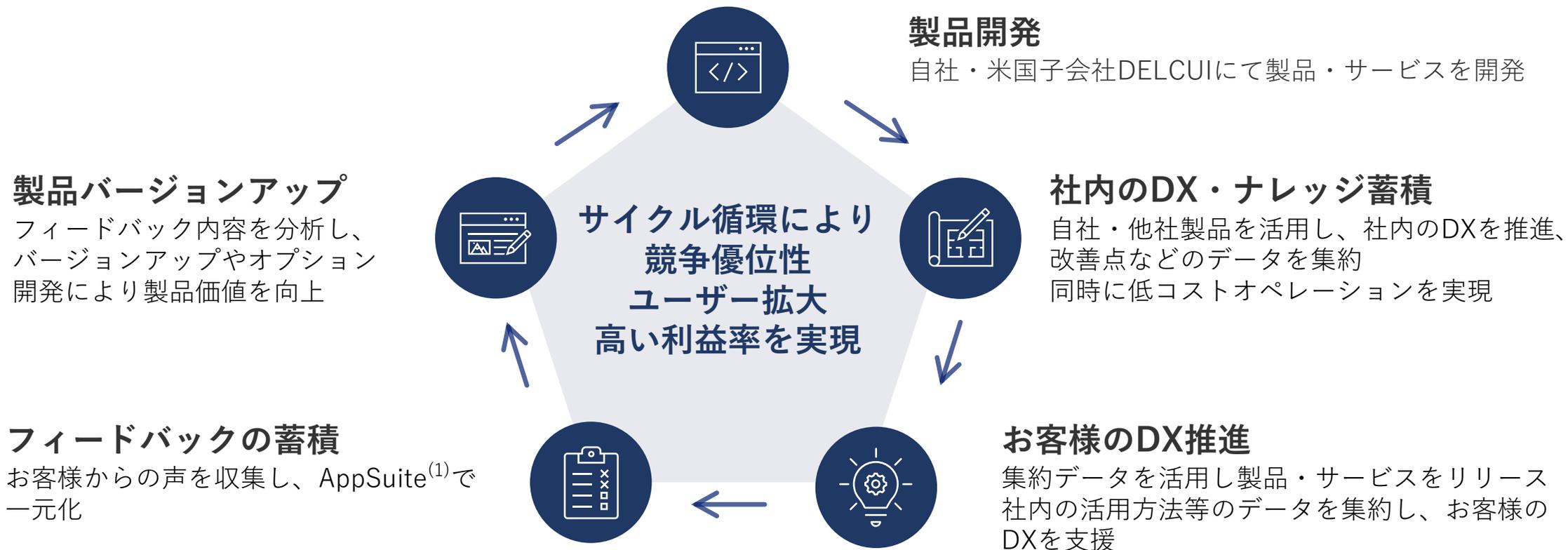


社内のDX推進



お客様のDX推進

ネオジャパンでは、社内のDXをお客様のDXに繋げ成長を加速させる、DX戦略サイクルを構築しています。



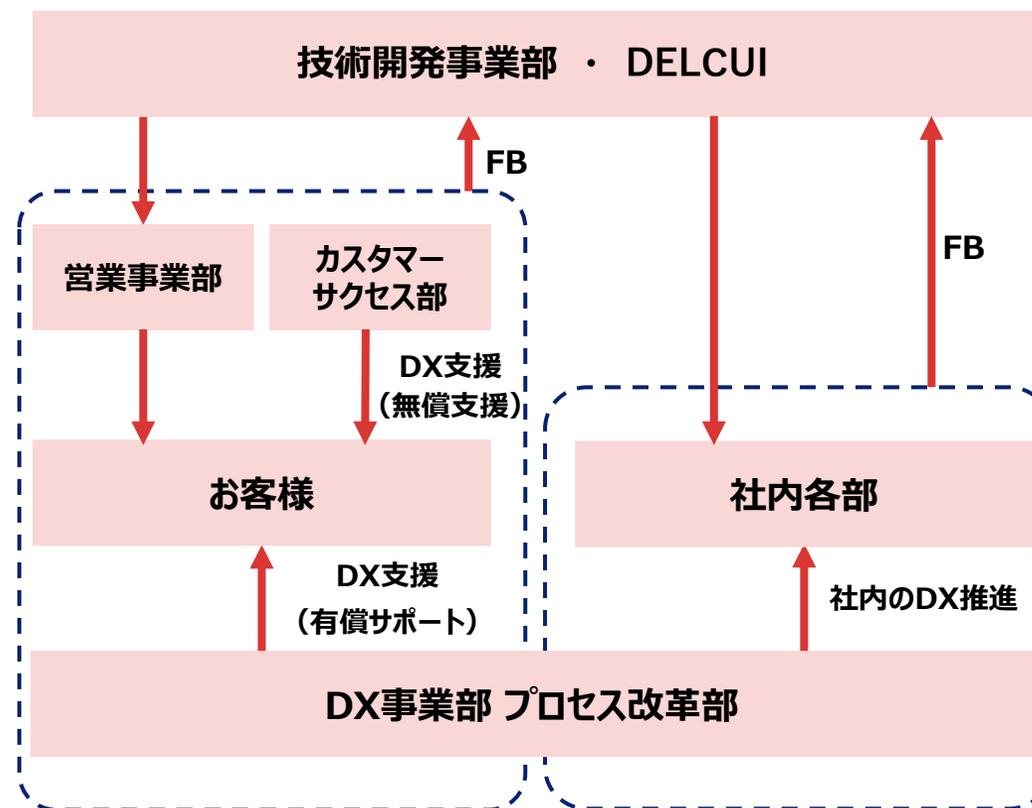
1. 当社が開発・販売するノーコードで業務用アプリ開発ができるWebデータベースツール

DX事業部プロセス改革部が、DX戦略（お客様のDX・社内のDX）を推進しています。

## お客様のDX

- ◆ 営業事業部を通じて製品・サービスをお客様に提供
- ◆ カスタマーサクセス部が、オンラインセミナーや1on1個別相談会を通じ、お客様のDX推進を無償で支援
- ◆ AppSuiteで実現したい業務の構想があるものの、有償支援を希望するお客様に、プロセス改革部が業務のアプリ化・システム化実現に向けて支援・代行を実施

## 社内のDX



- ◆ 技術開発事業部が主力製品を開発し提供
- ◆ 米国子会社DELGUIでは、生成AIを活用した新製品・サービスの開発・導入を担い、β版の段階から提供
- ◆ プロセス改革部が各部のニーズを把握し、社内のDXを推進  
活動状況は、常勤取締役・各部門長が出席する経営執行会議にて毎月報告

ネオジャパンでは、下記取り組みによりDX戦略の推進に必要な人材の育成・確保を進めております。

01

## 研修・OJT・技術資格奨励制度の整備

エンジニアは新卒を採用し育成するのが基本方針です。入社後の研修、OJTを通じて技術力向上を図っています。また、技術資格奨励制度による試験費用補助や報奨金支給を行っています。2025年には、E資格、Generative AI Test、データサイエンティスト検定、ITコーディネータ資格等を追加しました。

02

## AIスキル向上及び業務活用の促進

非エンジニアを含む全従業員の約3割がAIリスキリング研修を受講し、受講者全員が「生成AIパスポート」を取得。全社員を対象としたAIリテラシー診断テストを複数回実施し、生成AIスキル向上及び業務活用促進を図っています。

03

## 米国子会社DELGUIとの連携

2024年米国子会社DELGUIでの開発体制強化を目的とし1百万米ドルの増資を実施。AIエンジニアの採用を進めるとともに、生成AIを組み込んだ製品・サービスを開発。同社との協業を通じグループとしての人材確保、開発体制強化に努めています。

desknet's NEO・AppSuiteをDX基盤としてDB一元化を進めるとともに、「neoAI Chat<sup>(1)</sup> for desknet's」「NEOPORT<sup>(2)</sup>」「LiveX AI<sup>(3)</sup>」等のツールを整備し、生成AI活用によるDXを推進しています。

## DX基盤

- ◆ スケジュール、申請管理、文書管理などの機能に業務データを集約
- ◆ ノーコードで業務アプリを作成。紙、Excelの申請書をWeb化、業務処理をシステム化



## メール対応

- ◆ お客様や販売パートナーからのメールでの問い合わせについて、担当者間での共有・作業分担を効率化
- ◆ AIを活用し情報収集、回答作成のスピードを向上



## 生成AIプラットフォーム

- ◆ 全社員が利用できる、セキュリティを確保した生成AIプラットフォームを整備
- ◆ 業務に特化したAIアシスタントを作成するなど、生成AIを活用したDXを全社的に推進



## カスタマーサポート

- ◆ お客様サポートサイトに自律型AIエージェント(LiveX.AI)を搭載
- ◆ AIによる24時間、365日対応を実現し、顧客満足度向上と業務効率化を両立



1. 東京大学松尾研発スタートアップの株式会社neoAIが開発・提供する生成AIプラットフォーム「neoAI Chat」の、desknet'sユーザー向け専用モデル  
2. AI活用により生産性向上を実現したメール共有ツール 3.カスタマーサポート等をチャット、音声等あらゆるチャンネルで動かす事の出来るオムニチャンネルAIエージェント

ISO27001認証やASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示認定制度を取得、安心・安全・安定的なシステム運用とサービス提供が可能な環境を構築しています。

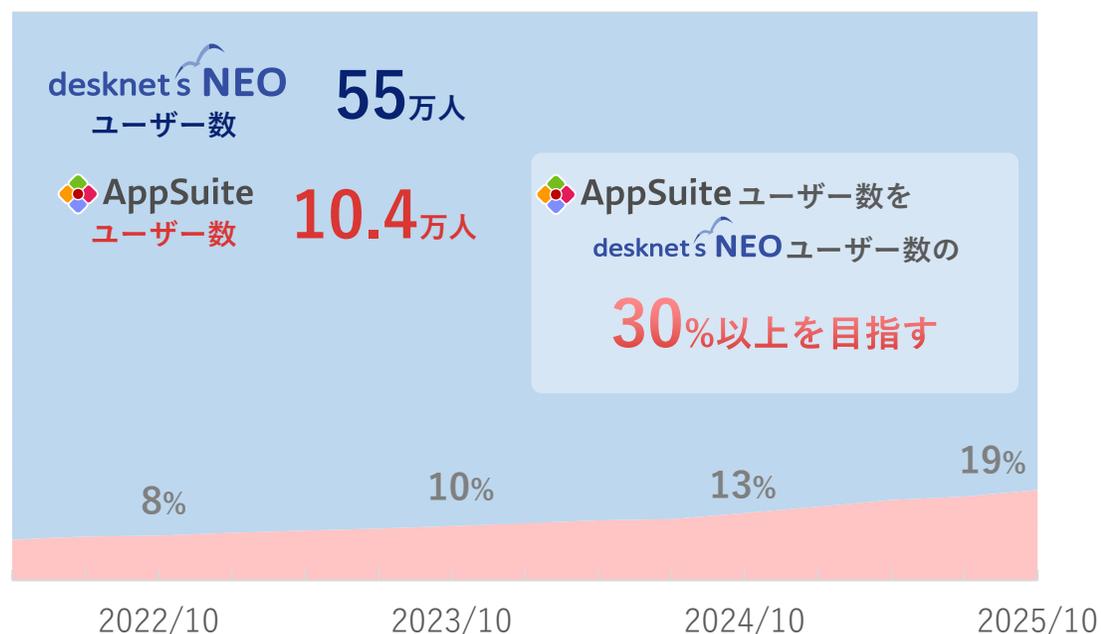
- ◆ 各部門長を委員として構成するISMS委員会を設置し、ISMSの構築・運用を主導しています。委員長は、CISOであるDX事業部長(取締役)が務めています。
- ◆ ISMS委員会は、組織全体に情報セキュリティの重要性を周知する他、インシデント対応、ISMSの有効性評価・継続的な改善を推進しています。
- ◆ DX事業部・営業事業部を中心にISO27001/ISMS認証を取得<sup>(1)</sup>し、定期的にISMS外部監査を受けセキュリティの維持に努めています。また、ISMS規程に則り内部監査を行っています。
- ◆ ISMSに関して適用外の部署においても、準拠する形で自ら定めた情報セキュリティ基本方針に基づき情報資産等の取扱基本規程等を定めています。
- ◆ サイバーセキュリティへの具体的な対策としては、全職員向けの情報セキュリティ研修・標的型攻撃メール訓練を実施。社外アクセス制限(VPN接続のみ許可)、マルウェア対策を含むエンドポイントセキュリティ導入、メールセキュリティシステム導入、ファイアウォール機器導入、監視システムの導入等を実施しています。

1. 適用範囲：ソフトウェアプロダクト及びクラウドサービスの販売及びそれに関連するプロモーション、受発注業務、カスタマーサポート

お客様のDXの指標としてAppSuite利用率向上を掲げ、社内のDXとともに推進を図っています。

## お客様のDX

DX戦略のKPIとして、desknet's NEOクラウドに対するAppSuiteクラウドの利用ユーザー数を30%以上<sup>(1)</sup>にすることを目指しています。



## 社内のDX

社内においては、各種ツール導入による効果を図る為、活用状況、業務削減効果を計測し、更なるDXの推進を図っています。

### KPI例

- ◆ FAQにおけるサジェスト機能による問合せ削減率
- ◆ サポートサイトにおけるLiveX AIの利用率
- ◆ neoAI Chatの利用率

1. (AppSuiteクラウドユーザー数÷desknet's NEOクラウドユーザー数) にて算出